

令和6年度国内における米海兵隊との共同訓練
(レゾリュート・ドラゴン24) について

このことについて、防衛省北関東防衛局から、下記のとおり情報提供がありましたので、お知らせします。

記

1 情報提供内容

別紙1及び別紙2のとおり

2 その他

令和6年7月2日(火)、横田飛行場において、CV-22が同飛行場を離陸し、基地周辺を飛行した旨、関係自治体の皆様にお知らせしたところですが、訓練をより実効的かつ実戦的なものとするべく、日米間で継続して協議を行ってきたところ、今般、令和6年度米海兵隊との実動訓練(レゾリュート・ドラゴン24)へのCV-22(×2機程度)参加を計画しております。

レゾリュート・ドラゴン24に参加する横田飛行場のCV-22の要員は、米空軍が発表した「3段階のアプローチ」が完了するとともに、最新の整備要領及び安全手順を網羅した包括的な技術訓練を実施しており、必要な練度を回復した上で本訓練に参加するものです。

陸上自衛隊 ニュースリリース



JGSDF News Release

<https://www.mod.go.jp/gsdf/news/press/>
(お知らせ)

令和6年6月21日
陸上幕僚監部

令和6年度米海兵隊との実動訓練(レゾリュート・ドラゴン24)の概要について

陸上自衛隊は、日米同盟の抑止力・対処力を一層強化すべく、以下のとおり令和6年度米海兵隊との実動訓練(レゾリュート・ドラゴン24)を実施しますので、お知らせいたします。

1 目的

陸上自衛隊及び米海兵隊の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する際の相互連携要領を実行動により演練し、日米の連携強化及び共同対処能力の向上を図る。

2 期間

令和6年7月28日(日)～同年8月7日(水)

3 場所

山口県(米海兵隊岩国飛行場^{※1})、熊本県(陸上自衛隊健軍駐屯地、陸上自衛隊高遊原分屯地、陸上自衛隊大矢野原演習場)、大分県(陸上自衛隊日出生台演習場)、佐賀県(陸上自衛隊目達原駐屯地)及び沖縄県(県内の一部の自衛隊施設及び在日米軍施設)

※1 米海兵隊岩国飛行場は、航空機の基盤としてのみ使用

4 訓練実施部隊等

(1) 陸上自衛隊等

ア 担任官

西部方面総監 陸将 荒井正芳

イ 実施部隊

西部方面総監部、第4師団、第8師団、第15旅団、西部方面情報隊、第2特科団、第2高射特科団、西部方面航空隊、西部方面システム通信群、西部方面後方支援隊、西部方面衛生隊、九州補給処、那覇病院、陸上総隊(第1ヘリコプター団等)^{※2}

※2 海上自衛隊及び航空自衛隊から、一部の部隊の参加を調整中

(2) 米海兵隊等

ア 担任官

第3海兵機動展開部隊司令官 中将 ロジャー・B・ターナー

イ 実施部隊

第3海兵機動展開部隊司令部、第3海兵機動展開部隊情報群、第3海兵師団(第12海兵沿岸連隊等)、第1海兵航空団、第3海兵兵站群、米海兵隊太平洋基地所属部隊、米陸軍・米海軍・米空軍の一部等

5 特 色

- (1) 島嶼防衛作戦における陸自の領域横断作戦（CDO）と米海兵隊の機動展開前進基地作戦（EABO）を踏まえ、作戦レベルと戦術レベルにおける連携要領の具体化を図るために実施する米海兵隊との共同訓練
- (2) 西部方面総監部と第3海兵機動展開部隊司令部以下により実施する国内における米海兵隊との最大規模の実動訓練
- (3) 本年3月に新編した第2特科団第7地对艦ミサイル連隊（勝連）が初めて参加するとともに、陸自V-22が昨年引き続き本訓練に参加

令和6年度国内における米海兵隊との共同訓練 (レゾリュート・ドラゴン24) について

令和6年7月
防衛省

令和6年度国内における米海兵隊との共同訓練 (レゾリュート・ドラゴン24) について

【訓練の目的】

陸上自衛隊及び米海兵隊等の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する際の相互連携要領を実行動により演練し、**日米の連携強化及び共同対処能力の向上を図るもの。**

また、一部の訓練では、**島外避難に応用可能で国民保護や防災にもつながる訓練を実施**します。

【訓練の沿革】

令和3年度に初めて実施し、本年度が4回目。

【演習の実施場所及び期間】

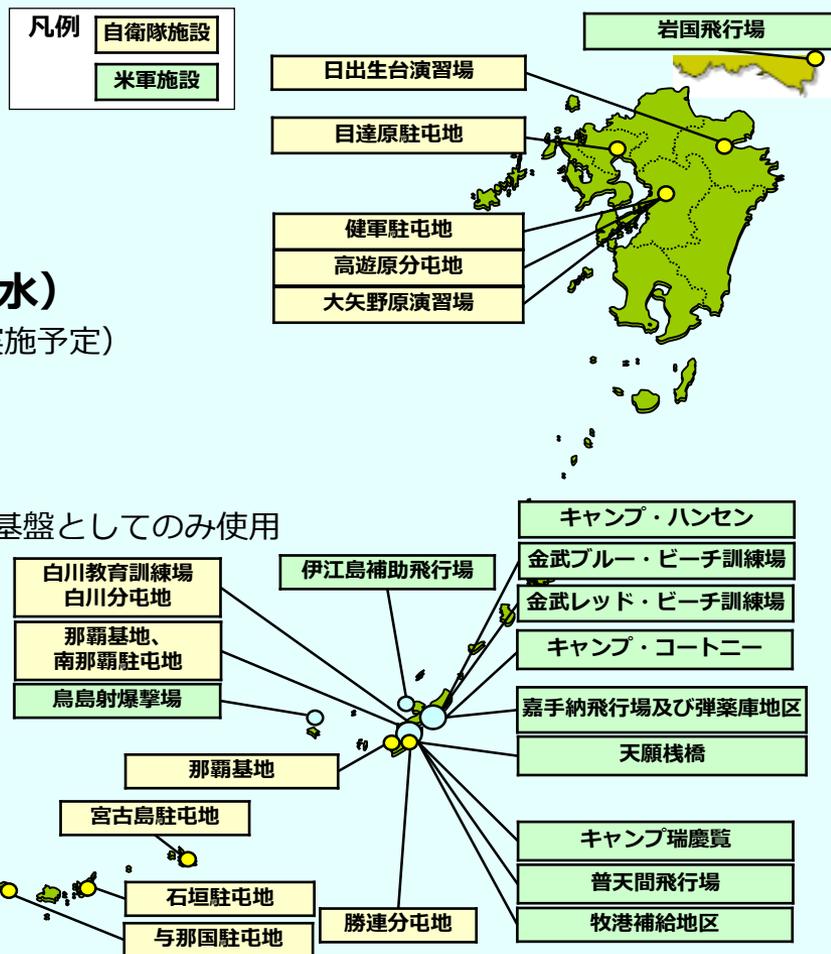
➤ **演習期間：令和6年7月28日（日）～8月7日（水）**

（本期間の前後に、それぞれ約1週間で展開・撤収を実施予定）

➤ **演習実施場所：山口県※、熊本県、大分県、佐賀県、及び沖縄県の下記の場所**

※ 山口県（米海兵隊岩国飛行場）は航空機の基盤としてのみ使用

- ・ **山口県**：米海兵隊岩国飛行場
- ・ **熊本県**：陸上自衛隊健軍駐屯地、
陸上自衛隊高遊原分屯地、
陸上自衛隊大矢野原演習場
- ・ **大分県**：陸上自衛隊日出生台演習場
- ・ **佐賀県**：陸上自衛隊目達原駐屯地
- ・ **沖縄県**：県内の一部の自衛隊施設
及び在日米軍施設



米海兵隊岩国飛行場の使用について

山口県

岩国飛行場においては、日出生台演習場及び大矢野原演習場等において実施する日米共同による対着上陸戦闘訓練、共同兵站訓練、共同衛生訓練等に参加する**米海兵隊航空機等の航空基盤**として、**駐機、飛行、整備等を実施する計画**です。

【期 間】 令和6年7月28日(日)～8月7日(水) ※¹ ※¹ 本期間の前後に、それぞれ約1週間で展開・撤収を実施予定

【参加部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約25名(陸上総隊(第1ヘリコプター団)等、V-22×1機程度) ※²

※² 給油及び装備品展示のために一時的に飛来予定

米 軍：米海兵隊、米空軍 約140名(第1海兵航空団、第353特殊作戦航空団等、KC-130×2機程度、MV-22×6機程度、CV-22×2機程度)

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練要図



訓練イメージ



航空機の駐機等



航空機の飛行

健軍駐屯地及び高遊原分屯地の使用について

熊本県

健軍駐屯地においては、日米の共同調整所を開設した机上訓練（指揮機関訓練）を実施する計画です。

高遊原分屯地においては、日出生台演習場及び大矢野原演習場において実施する日米共同の対着上陸戦闘訓練や射撃訓練等に参加する陸自航空機及び米海兵隊航空機の航空基盤として、駐機、燃料補給、整備等を実施する計画です。

- 【期 間】 令和6年7月28日（日）～8月7日（水）※ ※ 本期間の前後に、それぞれ約1週間で展開・撤収を実施予定
- 【参加部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約950名（西部方面総監部、西部方面航空隊、陸上総隊（第1ヘリコプター団）等、AH-64×2機程度、CH-47×1機程度、UH-60×2機程度、OH-1×1機程度、及びV-22×2機程度）
- 米 軍：米海兵隊、米海軍及び米陸軍 約300名（第3海兵機動展開部隊司令部、第3海兵師団、第1海兵航空団、タスクフォース76/3、マルチドメイン・タスクフォース等、CH-53×4機程度）
- 注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練要図



訓練イメージ



机上訓練（指揮機関訓練）



航空機への燃料補給・整備

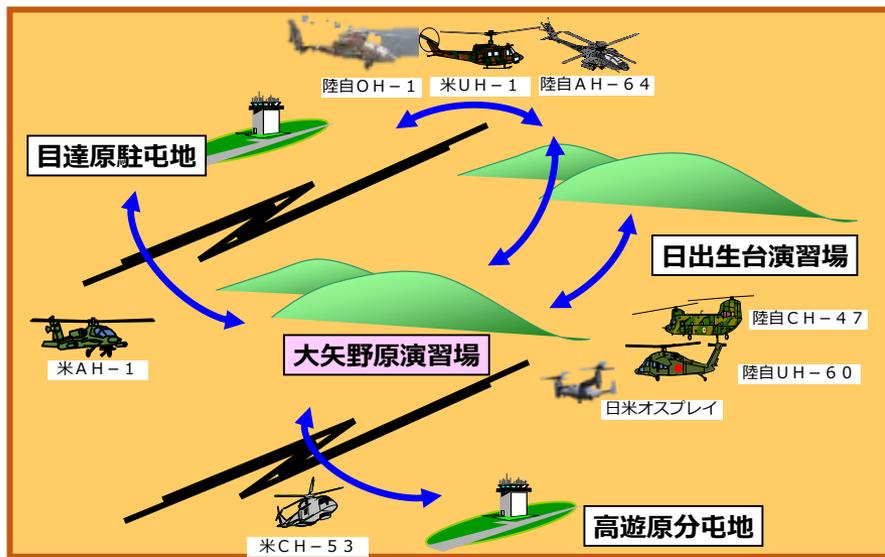
大矢野原演習場の使用について

熊本県

大矢野原演習場においては、**共同戦闘射撃訓練**や**日米オスプレイ**、**陸自CH-47**等を使用した**共同兵站訓練**（燃料補給、整備等）や**共同衛生訓練**（患者後送等）を実施する計画です。

- 【期 間】 令和6年7月28日（日）～8月7日（水）※1 ※1 本期間の前後に、それぞれ約1週間で展開・撤収を実施予定
- 【参加部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約400名（第4師団、西部方面航空隊、陸上総隊（第1ヘリコプター団）等、AH-64×2機程度、CH-47×1機程度、UH-60×2機程度、OH-1×1機程度及びV-22×2機程度※2、87式対戦車誘導弾、81mm迫撃砲、対人狙撃銃、スカイレンジャー等）
- ※2 陸自Vは高遊原分屯地を、陸自CH/UH/AH/OHは高遊原分屯地及び目達原駐屯地を航空基盤とする計画
- 米 軍：米海兵隊、米空軍 約300名（第3海兵師団、第1海兵航空団、第353特殊作戦航空団等、CH-53×4機程度、AH-1×2機程度、UH-1×2機程度、MV-22×6機程度、CV-22×2機程度※3、81mm迫撃砲、60mm迫撃砲、ジャベリン等）
- ※3 米CHは高遊原分屯地を、米AH/UHは目達原駐屯地を、米MV/CVは岩国飛行場を航空基盤とする計画
- 注：員数や参加部隊は現時点で計画中的のもの

訓練要図



訓練イメージ



共同戦闘射撃訓練



共同兵站訓練（燃料補給・整備）



共同衛生訓練

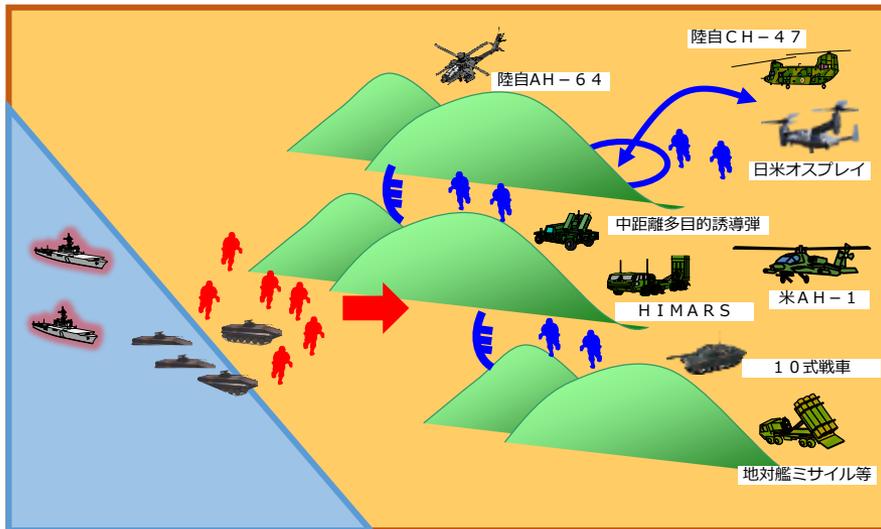
日出生台演習場の使用について

大分県

日出生台演習場においては、日米の共同調整所を開設した机上訓練（指揮機関訓練）、日米共同による対着上陸戦闘訓練、共同兵站訓練（補給品の空中投下等）や共同衛生訓練（患者後送等）、共同戦闘射撃訓練等を実施する計画です。

- 【期 間】 令和6年7月28日（日）～8月7日（水）※1 ※1 本期間の前後に、それぞれ約1週間で展開・撤収を実施予定
- 【参加部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約3000名（第8師団、第2特科団、第2高射特科団、西部方面航空隊、第2施設群、第301電子戦中隊、陸上総隊（第1ヘリコプター団）等、AH-64×2機程度、CH-47×1機程度、UH-60×2機程度、OH-1×1機程度、V-22×2機程度、空自C-130×1機程度※2、88式地对艦ミサイル、中距離地对空誘導弾、10式戦車、機動戦闘車、中距離多目的誘導弾、155mm榴弾砲、120mm迫撃砲、81mm迫撃砲、01式軽対戦車誘導弾、対人狙撃銃、UAV等）
- ※2 陸自Vは高遊原分屯地を、陸自CH/UH/AH/OHは高遊原分屯地及び目達原駐屯地を航空基盤とする計画
- 米 軍：米海兵隊、米空軍及び米陸軍 約1000名（第12海兵沿岸連隊、第1海兵航空団、第353特殊作戦航空団、マルチドメイン・タスクフォース等、KC-130×2機程度、CH-53×4機程度、AH-1×2機程度、UH-1×2機程度、MV-22×6機程度、CV-22×2機程度※3、米海兵隊・米陸軍HIMARS×5両程度、81mm迫撃砲、60mm迫撃砲、重機関銃、ジャベリン、UAV等）
- ※3 米CHは高遊原分屯地を、米AH/UHは目達原駐屯地を、米KC/MV/CVは岩国飛行場を航空基盤とする計画
- 注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練要図



訓練イメージ



対着上陸戦闘訓練



共同兵站訓練（空中投下）



共同衛生訓練



共同戦闘射撃訓練